

【テーマ①】

「円滑な移動の確保（情報提供・人的支援）」

## 移動のバリアフリーのための 私たちの役割は？

第3回パラバリ懇 パネルディスカッション  
～大会を機に何を変えるか。大会後に何を遺すか～

令和02年01月15日

日本大学 理工学部 交通システム工学科

稲垣 具志



# バリアフリーの整備が進む東京



## エレベーター・段差解消

H30末：95%



## 都道整備

H30末：80km



## ホームドア

H30末：41%



## ノンステップバス

H30末：93%

※ 東京都福祉のまちづくり推進協議会資料より

# バリアフリー整備で気になること

## その1

### 「施設や設備があれば問題は解決！？」

#### 【まだ成長過程にあるバリアフリー】

【島式ホーム】  
片側のみホームドア

【音サイン】  
音の鳴りすぎ  
聴覚過敏

【誘導サイン】  
慣れていない外国人  
車いす・低身長者

【横断歩道口】  
誘導ブロックの並べ方

# 横断歩道口の問題事例



見えない人が**間違った方向に横断**する可能性

※ 東京都内の写真ではありません

# バリアフリー整備で気になること

## その2

### 「人のサポートは本当に連続している？」

連続性  
確保！

鉄道駅 A



ここは誰が  
サポート？

連続性  
確保！

鉄道駅 B



ここは誰が  
サポート？

素晴らしい  
接遇！



バス停

乗降  
サポート！

ここは誰が  
サポート？

# 移動のバリアフリーのために求められること

1. 施設整備の足りないところをサポート

2. 人のサポートのボタンをつなぐ

— まちにいる私たちの役割がある！ —

- 「よくある困りごと」の理解
- 「私ができること」への気づき
- 「その人の必要」に対する行動の選択

**他者に対する関心 と コミュニケーションが重要！**